

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和6年度瑞穂町子ども・子育て会議（第2回）	
開 催 日 時	令和6年6月24日（月）午後6時30分から午後7時45分まで	
出席者及び 欠 席 者	【出席者】委員10名、事務局3名、関連部署職員8名、コンサルタント2名、合計21名 【欠席者】委員2名	
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議題 （1）アンケート調査票項目（案）について （2）その他 4 その他 5 閉 会	
傍 聴 者	2名	
配 布 資 料	当日配布 ・ 次第 事前配布 ・ 瑞穂町子どもの生活実態調査 ・ 「こどもまんなか社会」の実現に向けたこども施策の重要事項を推進するためのアンケート調査内容（暫定案）	
会 議 内 容 （主な意見 等を原則と して発言順 に記載。）	1 開 会 （会長） 2 あいさつ （会長）	本日の出席委員は9名（1名は遅れて出席）である。瑞穂町子ども・子育て会議第7条規定に基づき、半数以上の委員の出席により会議が成立となるため、開会する。 今回、会議に先立って、色々なアンケートをする中で、「こどもまんなか社会」という言葉、そして「こども家庭庁」という言葉がキーワードになって、改めてこども家庭庁のホームページを見ると、非常に良く出来ていた。ここで言う子どもとは何歳を指しているのか、行政的には20歳や18歳等色々な区切りがあるが、「こどもまんなか社会」のこどもは年齢で区切らず、必要に応じて対応していくという部分で、こどもを定義している。年齢をイメージしないで、こどもに役に立つものをしっかりを見据えて、アンケートをとらえていかなければならないと思った。アンケートの二次元コードを試してみる

		<p>と5分程度で簡単に回答できたので、出来るだけ多くの意見を色々な年齢層の人から吸い上げて、良いものに作り上げていければと考えている。本日は教育委員会からも学校教育課長と教育指導課長が来られているので、もし何かあればアドバイスをお願いしたい。</p> <p>3 議題 (事務局)</p> <p>(1) アンケートの調査票の項目(案)について ※(資料)「瑞穂町子どもの生活実態調査」・『「こどもまんなか社会」の実現に向けたこども施策の重要事項を推進するためのアンケート調査内容(暫定案)』を用いて説明を行う。</p> <p>(会長)</p> <p>今、事務局から4種類のアンケートの説明があった。私は事前に二次元コードを使って回答してみた。「ない」を選択すると次の質問に飛び、「ある」と答えると続きの質問が出てきて10分以内で簡単に回答できるようになっている。今の説明を受けて、感想等聞いていきたい。進め方としては、小学5年、中学2年のアンケートについてまず検討し、続いて高校生、保護者、一般をやった後、全体の見直しを行いたい。では小学5年生、中学2年生のアンケートについて、これは紙ベースしかなく、10分程度で回答できるものになっているが、いかがか。</p> <p>(宮崎委員)</p> <p>問9のあなたは普段、学校以外でインターネットをどのくらい利用しますか」というので、一番頻度の多い選択肢が「1.ほぼ毎日」になっているが、毎日使っている人が多く、その中でも何時間使っているか、グラデーションを付けた方が良くと思う。 あと、小中学生に対して二次元コードが無いのはなぜか。</p> <p>(事務局)</p> <p>本来は二次元コードがあって、学校のタブレットを使って実施する方法も考えたが、学校の授</p>
--	--	---

		<p>業中になるので強制は出来ない。ただ自分の娘も小学5年生で毎日スマホを使っているのも、もし小中学生のアンケートにも二次元コードを付けるという話が委員の中から出てくれば、簡単に作成できるので付けても良いと思う。</p>
(石坂委員)		<p>二次元コードはあった方が良くと思う。学校で使う・使わないではなく、家で保護者のものを借りて出来るので、あった方が良い。</p>
(事務局)		<p>承知した。</p>
(石坂委員)		<p>問3について、趣旨は遊び場の満足度とニーズを問いたいということで、選択肢に「自分の部屋」と「家庭」を2つに分けているのはなぜか。また地域の施設の中で「公園や広場」と「室内の施設」とに分けて取った方が、小学生は実態が分かるのではないか。</p> <p>問4について、図書の時間についての問いだが、2つに○とすると、多分「本を読む」は出てこないと思うので、テレビや読書の頻度を問う設問にした方が良い。</p>
(堀池委員)		<p>私も資料2には「遊びや体験活動の推進」が趣旨であるのに、この項目だと体験や、休日には地域の中だけでなく、色々な体験をする状況があると思うので、これだけしか選択肢がないのは、どこにも当てはまらない場合も出てくると思う。</p>
(会長)		<p>問3・問4は大事な設問であるが、シンプルすぎて実態が見えないことにもなりかねない。</p>
(石坂委員)		<p>問3は選択肢もそうだが、「自分にとって落ち着いて過ごせる場所」というのもキーワードになるのか。</p>

		<p>安心できる場所の方を問いたいのか、コミュニティも含めて活躍できる場所を問いたいのかによって変わってくるが、事務局としてはどう考えているのか。</p>
	(コンサルタント)	<p>問3の設問は、国の方で設定している内容を参考にしながら作成したが、我々も設問を作成する中で、ねらいと設問の内容がしっくりこなかったというのが正直あったので、今の委員の意見を参考に、「自分にとって落ち着いて過ごせる場所」というキーワードと、遊びや体験のニーズを問える設問を改めて検討したい。</p>
	(会長)	<p>問4に関してはどうか。</p>
	(コンサルタント)	<p>問4に関しても国の選択肢を基に作成したが、指摘の通り、この選択肢だと「本を読む」は選ばれないと思うので、2つに○ではなく、あてはまるものすべてに○とする方法もあるが、読書をする時間が今の子どもたちにどれくらいあるのかを把握する必要があると思うので、「本を読む」を選択したら、1日どれくらい本を読むか副問として付けても良いと思うが、そうすると設問数が増えることにもつながるので、そのバランスをどうするか。この設問の狙いは読書をする子どもがどんどん減ってきている中、こどもまんなか社会を実現するのであれば、読書する子どもを増やしていかなければならない。そのために行政として何をしなければいけないのか、そういった施策を考えていくために必要な設問なので、もう少し詳しく掘り下げた方が良いと思う。読書の時間を問う程度であれば、追加しても問題ないと考える。</p>
	(会長)	<p>学校では学力調査の中の生活実態の方でも、読書や遊びの関係等調べているが、委員会として具体的に時間等を問うのか。</p>

(堀池委員)	別口で取っているものと合わせて検討できるということであれば、わざわざ入れる必要はないと思う。設問数が増えるのは良くない。
(宮崎委員)	多様な遊びや体験の中で、読書を推していきたいと国も考えているということか。読書も多様な中の1つで、読書以外にも You Tube で勉強するのも普通になってきているが、活字を読む文化を残していきたいということか。
(コンサルタント)	国が示しているこども大綱の中で、子どもの読書活動が重要であると示されていて、今後子ども計画を立てた上で、家庭や地域、学校、園における読書活動を推進するとしている。瑞穂町でも読書活動に対してどのように取り組んでいくのか考える上で、把握できればと考え、設問に落とした。ただ別の調査を使えるのであれば、それを参考にして問題ないので、設問を減らしても良いと思う。
(石坂委員)	テレビやゲーム、インターネット等の経験を知りたいのではなく、読書について知りたいのか。
(コンサルタント)	狙いとしては本を読むというところを見ている。
(宮崎委員)	それであれば、読書に関してだけ聞けば良い。
(関連部署職員)	図書館で子ども読書活動推進計画を策定し、推進している。これが更新の時期になっていると思うので、アンケート調査をすると思うが、同じ時期だと結果の共有が難しいかもしれないが、そことも共有できればと思う。
(会長)	学力調査のデータ等と見比べてみて活用できるのか、それとも新たに調査するかは宿題という

		ことで、検討願いたい。
(岩田委員)		保護者用の問7の年間の世帯収入に関する設問で、選択肢に「500～1000万円」が抜け落ちている。
(事務局)		「1.200万円未満」「2.200～400万円未満」「3.400～600万円未満」「4.600～800万円未満」「5.800～1000万円未満」「6.1000万円以上」と修正することを検討している。
(岩田委員)		保護者用の問8の親同士の交流の場というのは、どこまで含まれるのか。例えば学校の保護者会や、幼児期の児童館の集まり等も含まれるのか。
(コンサルタント)		公的な交流の場というのがイメージとしてはあるが、どう表現したらよいか難しいと感じている。
(岩田委員)		小学5年生・中学2年生の保護者が、就園前のことを回答しても良いのか悩むので、「最近の」「ここ2年」等の言葉を入れた方が良いのではないか。学校の保護者会等も記入して良いのか、何か例があった方が分かりやすい。
(コンサルタント)		例を示した形に修正する。
(会長)		例があると書きやすくなる部分もあれば、逆に例に屈してしまう部分もあるので塩梅が難しい。
(岩田委員)		瑞穂町でも、乳幼児の頃は親同士の触れ合いの場がたくさん用意されていて、充実していると思うが、小学校に入ると、子育てに意欲が高まりスキルアップになるような交流会のようなものがあるのか疑問である。保護者会も含まれる

		<p>ということであれば、保護者会に行って、人に話すことで悩みや不安が軽減されることはあるかもしれないが、子育てに必要な知識や意欲が高まるとまではならないと思う。</p>
(会長)		<p>学校関係者としては悲しい。保護者同士が意図的に集まって、教育の話しや子育ての話しをする機会は、PTA の保護者会でセッティングしているが、保護者会に参加しないケースが多い。</p>
(堀池委員)		<p>外から講師を呼んだりして、知識を高める場は確かにある。</p>
(岩田委員)		<p>設問を読んでいて、どこまで含まれるのかと思ったが、何年も前のことでも「ある」と回答すれば、続きの質問に答えられる。</p>
(長谷川委員)		<p>書く場所があることで、どこで、どの年代でということが調べられて良いのではないか。</p>
(宮崎委員)		<p>「ない」と回答する人が多ければ、瑞穂町でイベントを作ってもらえる。</p>
(会長)		<p>時間配分を考えて、高校や一般についても意見があればお願いしたい。</p>
(宮崎委員)		<p>二次元コードの方は自由記載がないが入れないのか。</p>
(事務局)		<p>今は入れていないが、自由記載を設ける予定である。紙の方にも設ける予定である。</p>
(宮崎委員)		<p>設問ごとに自由記載の欄は設けないのか。</p>
(事務局)		<p>設問ごとには設けず、最後に設ける予定である。</p>
(副会長)		<p>知り合いの 20 代の若者に「あなただったらどん</p>

		<p>なアンケートを作ってもらいたいか」と尋ねたら、自由記述欄が2つあって、1つは自由に書けるもの、もう1つは例えば「学校を良くするにはどういうことが必要か」「子どもにとって楽しいまちになるには、どういうアイデアが必要か」等のテーマを決めて、「あなたのアイデアが良ければ採用します」という一言を付けたらどうかという提案であった。</p>
	(会長)	<p>こどもまんなか社会においては、パブリックコメントをどんどん取り入れるというのがあるので、色々なところで意見を吸い上げていければ良いと思う。</p>
	(堀池委員)	<p>高校生アンケートの間 11-1 「性的暴力や性的ハラスメントを受けた時、声をあげられないのはなぜですか」の選択肢の中に「2. 仕事や周囲への影響を考えて」というのがあるが、高校生のアンケートなのに「仕事」というのは要らないのではないか。</p>
	(事務局)	<p>高校生用となっているが、あくまで住民基本台帳のデータの中から、生年月日で追っていくしかなく、高校2年生になる生年月日で抽出をしていて、働いている人も含まれているので、学生でも社会人でもどちらでも通用するように、文言は修正しようと考えている。高校生用という表現も修正する。</p>
	(石坂委員)	<p>一般用の問5について、子どもがいない人が一定数いて、属性も分からない中で、一般の傾向をつかんで施策に反映するのか。交流の場が「ある」と答えた場合は、色々な年代のお子さんということになるのか。</p>
	(事務局)	<p>一般は18歳から39歳の方々を抽出して、小学5年生、中学2年生の保護者に被らないように</p>

		<p>する。結婚している人もいるし、独身の人もいるし、子どもも色々な年代である。</p>
	(石坂委員)	<p>参加の有無というよりは、ニーズを聞いた方が良いのではないか。</p>
	(コンサルタント)	<p>持ち帰り検討する。</p>
	(会長)	<p>ある程度対象を絞れば、より深いアンケートをとれると思うが、幅広い世代、職種、色々な人たちから多様な意見を求めるとなると、項目も限られる中で、何を優先するかという問題があるが、参考意見として検討してもらいたい。</p>
	(宮崎委員)	<p>高校生向けの間 12-1「自身が性的暴力や性的ハラスメントを受けた場合、誰に話や相談をしますか。」について、選択肢の中に専門の相談窓口について、情報提供になるような窓口を提示しても良いのではないかと思った。現在進行形で苦しんでいる高校生の助けになるような窓口のリンク先の二次元コードを付けてはどうか。</p>
	(吉岡委員)	<p>一般の間 7 と間 13 は「3つに○」となっているが、複数回答で良いのではないか。3つに限定する意味は何か。</p>
	(コンサルタント)	<p>相談先の周知になるような二次元コードを入れるかどうかという件に関しては、具体的な専門の相談窓口を知っているかどうかという質問を入れてはどうか。具体的な相談先があって、つなぎのための二次元コードを一緒に載せておけば、より分かりやすいと思うので検討したい。回答を3つまでと限定しているのは、よりニーズを明確にしていくという狙いがあるが、広く意見を聞くという意味においては問題ないので、「あてはまるものすべてに○」でも問題ない。</p>

(堀池委員)	<p>全てのアンケートに「こどもまんなか社会の実現に向かっていていると思いますか。」と聞いているが、「こどもまんなか社会」の説明は書いてあるが、知らない人にとっては「こどもまんなか社会」という言葉が出てきた背景が分からないので、町長の挨拶文等の中に、説明を入れてほしい。</p>
(宮崎委員)	<p>「こどもまんなか社会」について学校の授業では触れているのか。</p>
(石坂委員)	<p>子どもの権利条約は学ぶが、「こどもまんなか社会」というのは時事問題の中で扱う程度で必ずやるというものではない。</p>
(宮崎委員)	<p>「皆さんからの意見を大事にして子どもの施策を進めていきますと、国のホームページに載っていますが、そういうことがアンケートにも書いてあると、「じゃあ書こう」となると思う。</p>
(会長)	<p>子ども家庭庁のホームページを見ると、クイズ形式で「こどもまんなか社会」はどのようなものなのか分かるようになっているので、詳しく知りたい人のためにリンク先を付けるのも良い。他にはどうか。 資料2はどこかに公表する予定はあるのか。</p>
(事務局)	<p>あくまで本日の会議のための資料である。</p>
(会長)	<p>他になければ議題1については終了する。</p> <p>(2) その他 特になし</p>
4 その他 (事務局)	<p>次回の会議日程について 8月5日(月)18:30～ 庁舎1階ホールにて開催予定</p>

5 閉 会
(副会長)

アンケートを受け取った方が分かりやすいような質問をした方が良く、皆さんが受ける側の気持ちになって考えてくださったのが非常に良かった。あとは事務局に頑張ってもらって良いものにしてもらいたい。これで第2回子ども・子育て会議を終了する。

以上